

荒川 英敏

英国のホリデー事情

英国の学校の夏季休暇が7月20日から始まり、ホリデーシーズンのピークを迎えます。こちらの学校は新学期の始まりが9月からで、休暇は秋口にハーフターム（学期が変わる前後のプチ休暇のこと）が9日、Xマス・ニューイヤーホリデーが17日、冬の終わりのハーフタームが9日、春休みが17日、中間にハーフタームが10日、夏休みが45日、合計で年間107日の休暇となります。ちなみに、フランスが世界最長で130日、ドイツは89日で、いずれも日本の66日（春休み11日、夏休み42日、冬休み13日）より、かなり長めの休暇となっています。果たして、日本の子供たちは休みが少なく、勉強をしっかりしていると考える良いのだろうか……。

英国人はホリデーは年間の重要なイベントと考えており、特に子供のいる家庭では前述の学校のハーフタームには国内外の小旅行や、夏休みは2~3週間の海外でのホリデーとなります。行き先は、スペイン、マジョルカ島、マヨールカ島、キプロス、イタリア、ギリシャ、モロッコ、フランス南部と地中海沿岸や島々で気温30℃を越える場所が好まれています。図1に毎月500万人もの英国人が海外旅行に行っている様子と行き先が見て取れます。

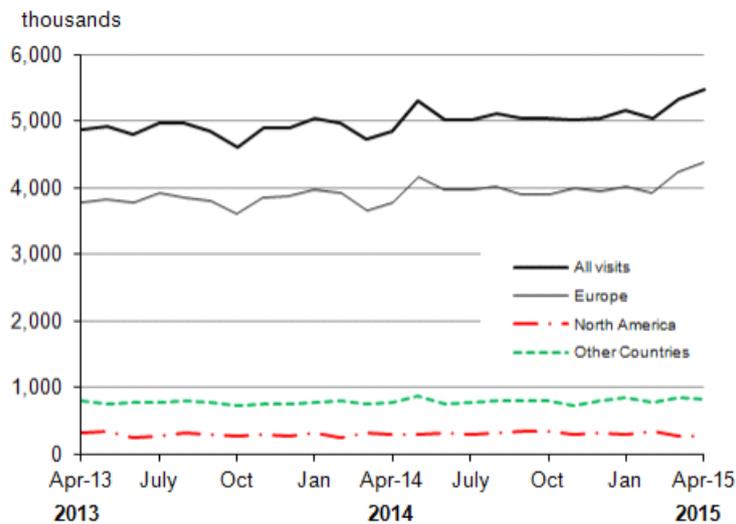


図1. 英国人海外旅行者数との旅行先の推移（出所：英国政府統計局）

この為、毎年Xマス休暇中にサマーホリデーの行き先と日程を決める家族会議を開きます。この時期に旅行社にサマーホリデーの予約を入れるとお得な大幅なディスカウントがあるので予約がピークとなります。英国人は「ホリデー取る為に働いている」と揶揄されるく

らいで、ホリデーを取らないのは服役中の囚人ぐらいと言われるほど、老若男女だれもがホリデーを取って楽しんでします。この時期の会話は「もうホリデーを取りましたか？」から始まります。特にサマーホリデーを取った人は、ホリデー先から絵ハガキを知人や親戚に出します。職場にも出し、職場の掲示板には沢山の絵ハガキが張り出されます。その光景は圧巻です。ホリデーから帰ってから職場に戻った初日は、ホリデー先の様々な見聞したみやげ話を同僚にするのが、お土産物をあげる風習が無い英国では、なによりの土産となります。



事業所の掲示板に張られた様々な絵葉書 (Web からのイメージ)

一般的に官公庁や民間企業では年間の有給休暇が 28 日付与されています。この事は土日を入れると 36 日のホリデーを取ることが出来ます。典型的なホリデーの取り方は、春に一週間、夏二週間+α、秋口に一週間、Xマス・ニューイヤーに一週間で年間の有給休暇を使い切ります。病気になった場合は、ホームドクターの診療証明を事業所に提出すれば病欠扱いとなり有給休暇から消化されないのが安心です。日本人は有給休暇は、病気になった時に備えて半分近くを残すのが通例になっている様で、何とも心もとない話です。

	英国	日本	仏	独	伊	スペイン	米	豪州	中国
人口(M人)	63	127	63	81	60	46	314	22	1354
出国者数(M人)	61	18	26	72	29	13	28	8	83
出国率(%)	97	14	41	89	48	28	9	36	6
入国者数(M人)	34	8	83	30	46	57	27	6	27

図 2. 主要国の出入国者数と出国率

出所：英国は政府統計局 2014 年より、他は JETRO 国際観光白書 2009 年より

図 2. から英国の出国者数は人口 63M 人に匹敵する 61M 人で出国率は 97%にもなります。このことはいかに多くの英国人が海外旅行に出かけているかを表しており、英国人が海外

旅行に掛けるお金は£35,830M(6兆8千億円)にもなります。一方、観光大国フランスやスペインは、人口よりも入国者数が圧倒的に多く、これらの国民のホリデーの行き先は自国が多いということになります。英国への入国者数は34M人で、フランスやスペイン、イタリアには及びませんが、これらの旅行者が英国に落とすお金は£21,490M(約4兆円)でGNPの押し上げに貢献していると思われます。それと英国人のホリデーの取り方が一ヶ所滞在型で、地中海沿岸のリゾート地で2~3週間、家族とゆったり過ごすのが定番となっています。

翻って、日本人の海外旅行(ホリデー)の取り方は、限られた日程の中で出来るだけ多くの国や観光地を巡る場合が多く、極端な場合は毎日ホテルが変わるあるあわただしい日程で「家族とゆったり過ごす」と言う西欧型のホリデーには、ほど遠い感じがします。経済大国になって久しい日本、そろそろ西欧型の2~3週間の一ヶ所滞在型ホリデーを定着させ国民を休ませないと、本当の意味での先進国とは言えないのではないのでしょうか。(了)